

食 品 安 全 研 究 会	食品微生物研究部会	<p>(1) 芽胞菌研究分科会</p> <p>1/24 ILSI Japan 会議室（麹町）にて打ち合わせ実施。 現状、試験方法が開示できる場所がないため、開示方法検討中。 ILSI Japan のウェブサイトでも可能か？検討中。 また開示できる状態の試験方法文書をまとめなおす作業を実施中。最終確認段階。 海外で試験方法のバリデーションを取る試験系を文書化する作業を実施中。 バリデーション方法の検討にあたり NBRC 川崎先生との相談で、NBRC にて芽胞液を作製して保存、分譲することの可能性があることが分かり、実施方向で相談予定。</p> <p>(2) MALDI-TOF MS 研究分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年1月31日 MALDI 分科会の開催（NITE 本所） NITE 本所にて MALDI 分科会を開催した。ILSI Japan から10名、NITE から8名参加いただき、これまでの進捗およびこれからの進め方を議論した。菌種同定精度の更なる向上に向けた、バイオメリュー製ソフトウェアのデータベース構築に関する技術交流会を2月28日（金）に実施する予定であり、その内容について確認した※。菌種同定以外の MALDI-MS の活用方法として MS スペクトラの多変量解析が可能となる eMSTAT の有用性について情報を共有した。 ※コロナウイルスの拡大による情勢を考慮し、後日延期を決定した。 4月以降で再度、日程を調整する予定である。 <p>(3) チルド勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「チルド食品勉強会活動紹介」として、「イルシー」誌に寄稿した。 ・取組んでいる2つの活動についてそれぞれ報告事項あり。 <p>耐熱性試験法検証試験</p> <p>耐熱性試験法検証試験（第2弾：各社で条件を揃えて実施）条件設定にあたり、芽胞形成条件を検討した。次回勉強会で、条件を揃えた試験法について説明する。</p> <p>ボツリヌス菌制御に関する活動</p> <p>外部機関への接種試験委託を念頭に、試験素案を作成中。</p> <p>(4) 国際整合性のある食品微生物リスク管理研究分科会</p> <p>ICMSF：YouTube 動画の和訳は第4章まで終了。第5章、6章の下訳を春日先生に確認いただいている（先生自身がコロナウイルス対応で時間がとれず、大幅遅延中）。</p> <p>FAO/WHO：山口大学豊福先生を通じて、MICROBIOLOGICAL RISK ASSESSMENT SERIES 24 “Statistical Aspects of Microbiological Criteria Related to Foods” の和訳、公開の許可申請、契約締結を進めている。</p> <p>*3/16 に予定していた第1回微生物部会はコロナウイルスの影響により、中止と判断。第2回微生物部会は6月にNITEにて実施予定。</p>
---------------------------------	-----------	---

	食品リスク研究部会	<ul style="list-style-type: none"> ・食品リスク評価のレベルアップのための勉強会として、3/19に国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部長・畝山智香子先生に講演を依頼していたが、新型コロナウイルスの影響を受けて、延期とした。なお、同日の部会については予定通り実施する（但し、WEB会議）。 ・元・国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部長・林真先生よりご紹介頂いた「"A Natural Mistake: Why natural, organic, and botanical products are not as safe as you think" (Dr. Jim MacGregor 著：元 FDA)」に関する翻訳本の出版、国内シンポジウムの開催について検討を開始。費用・著作権等の契約について明確化、部会にて協議し、承認が得られれば着手予定。
	香料研究部会	特に進捗なし
A A T プ ロ ジ ェ ク ト	概要	国際ワークショップの開催および2つの研究テーマ推進を3本柱とするワーキンググループ活動を国立医薬品食品衛生研究所、AI-SHIPS、NITE等の多数のアカデミアや学会、およびアジアやヨーロッパのILSI支部と連携しながら進めている。日本毒性病理学会(2/14)にて活動内容について講演した。
	2020 国際ワークショップ (ILSI Europe 協働)	<p>【概要】食品領域における動物実験代替について、現状の把握と進むべき方向性を議論することを目的として2020/10/22~23に横浜で限定公開(AAT関連メンバー等)にて開催する。</p> <p>【進捗】ILSI EuropeとのWeb会議やプログラム委員会にて大会長を含めた座長・演者の確定やアジア支部の意向確認等、プログラム案をさらに具体化すると共に、学会・行政等の招待案、ワークショップ Statement案を検討した。また、実務作業を担うワーキンググループ会議を開催し、今後の作業予定を確認するとともに、実務作業を開始した。</p>
	腸管吸収WG	<p>【概要】動物を用いないで機能性食品の摂取量を推定するためには動態の予測法開発が必須である。昭和薬科大学 山崎研究室の動態予測(計算)モデルの適用性を検討する。</p> <p>【進捗】医薬品・一般化学物質を中心とした成分をもとに作成したヒト血中動態予測モデルを用いて、物価性状などのin silico情報をもとに食品成分のヒト血中動態の予測精度の検討を進めた結果、輸送体の関与を評価する方法を組み込む必要があると考えられた。</p>
	データベースWG	<p>【概要】毒性文献等を活用した反復投与毒性を予測する手法の活用。独自に毒性情報を収集することも検討する。</p> <p>【進捗】データを収集する食品成分について、AI-SHIPSのケミカルスペースを基に一般化学物質と比較して食品成分の存在比率の高い区画に分類された成分の、既存データベースへの登録の有無を確認した結果、殆ど認められなかった。登録候補成分の優先順位付け、及び予測精度向上に向けたケーススタディの方法について検討を継続中。インプットフォーマットへの登録作業の課題を抽出すると共に食品成分の毒性試験情報を収集する論文の選定基準案を策定した。</p>
	定期会議	
	バイオテクノロジー研究会	<p>1. 2020年度 第1回目会議を2月18日に開催</p> <p>(1) ERAプロジェクト調査報告書 第48号を2月発刊、ERAプロジェクト調査報告 第49号の勉強会：</p>

		<p>・10報の論文をレビューし、意見交換を行った。</p> <p>(2) 大豆論文 雑誌掲載完了について</p> <p>Consideration of familiarity accumulated in the confined field trials for environmental risk assessment of genetically modified soybean (Glycine max) in Japan Transgenic Research (2020)pp1-14 https://link.springer.com/article/10.1007%2Fs11248-020-00193-z 隔離ほ場試験データトランスポートビリティーについて これまでの議論の振り返り、論点整理、意見交換する良い機会であるため当論文掲載完了を機にワークショップを開催する。タスクフォース設立が提案され、承認された。2月26日にタスクフォースメンバー活動開始。</p> <p>(3) 2020年度活動計画、助成金申請について</p> <p>来年度の助成金が理事会で承認されたことが報告された。</p> <p>(4) 会計報告、その他</p> <p>・ERA報告書について、450号に達したので集約版を作成することが提案され、承認された。昨年3月、8月の特別号を巻末に付録として挿入する予定。</p>
栄養健康研究会	栄養研究部会	特に進捗なし
	GRプロジェクト	多施設試験追試実施
	茶類研究部会・茶情報分科会	特に進捗なし
食品機能性研究会		
健康な食事研究会	ワーキンググループ1 (WG1) 科学的エビデンスに基づく日本人にとっての健康な食事の概念構築	特に進捗なし
	ワーキンググループ2 (WG2) 外食・中食・給食の実態把握	<ul style="list-style-type: none"> ・第8回「栄養とエイジング」国際会議での発表内容をまとめ、Nutr. Rev.への投稿論文を作成した。 ・「イルシー」誌143号への論文投稿に向けアンケートデータ解析中。投稿用原稿を作業チームに分かれ、3月末を目途に作成中。
	ワーキンググループ3 (WG3) 健康な食事の伝え方開発と社会実装による効果検証	<ul style="list-style-type: none"> ・第8回「栄養とエイジング」国際会議での発表内容をまとめ、Nutr. Rev.への投稿論文を作成した。 ・2月13日にミーティングを実施。「イルシー」誌143号への論文投稿に向け論文の骨子を作成した。また、スケジュールを明確化させた。
	研究会全体	健康な食事研究会の今後の方向性について、2月20日の第11回全体会議で再度議論した。これまでの健康な食事研究会は、ここで一度区切りをつけ終了。新たな活動について意見交換を行った。今後、方向性を明確化させる予定。
CHP	Project PAN (Physical Activity and Nutrition) “身体活動と栄養”プロジェクト	<p>◇ テイクテン (TAKE10!®) ～元気で長生きのための運動・栄養プログラム～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5回 すみだテイクテン自主グループ交流会：1月23日 (すみだ女性センター) ・介護予防「らくらく教室」講習会にて講義：1月29日 (足立区地域包括支援センター千住本町)

	<ul style="list-style-type: none"> ・「いしのまきテイクテン」 1月31日 石巻専修大学田中ゼミナールの学生と実践演習（石巻市南境集会所） 2月1日 住民、学生と協力をして教室開催。学生と住民による調理・食事の提供・栄養の講話・体操，住民20名、学生6名参加。（石巻市新蛇田復興住宅集会所） ・墨田区委託事業「栄養講演会」：栄養に関する講義と調理実習 協力：2月7日 ハウス食品本社グループ株式会社（本所地域プラザ） 2月18日 森永乳業株式会社（八広地域プラザ） ・「すみだテイクテン」自主グループ活動 「ほっこりテイクテン」：2月13日（すみだ生涯学習センター） 「スカイテイクテン」：2月20日（藤平ビル1階，墨田区）
Project DIET (Dietary Improvement and Education with TAKE 10!®) “途上国栄養改善と栄養教育”プロジェクト	<p>◇栄養改善事業推進プラットフォーム (NJPPP) 委託事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NJPPP セミナー「東京栄養サミット 2020 に向けて」パネルディスカッション：2月5日 ILSI が進めているインドネシア等での職場の栄養改善プロジェクトについて説明した（JICA 竹橋ビル）。 ・End-line study 実施：2月17～21日／ボゴール農科大学と打ち合わせ（来年度の展開について）・インドネシア政府・計画省などに説明（プロジェクトの進捗、展望について）：20日，21日，24日（デルタマス工業団地，インドネシア）
CHP 全体	
国際協力委員会	<p>委員会開催：2020年1月24日（火）16:00～17:30</p> <p>【議題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2020年度国際協力委員会予算（支援金）について 2. 食品産業センター 食品産業コーデックス対策委員会参加の件 3. 関連法規 Follow up の仕組みづくりについて 4. BeSeTo 以外の他支部とのコラボについて
情報委員会	<p>栄養学レビュー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・28-2号 通巻107号（2020年2月発刊予定） 編集会議 8/26 3報採択⇒年末までに監修原稿受領 ⇒12/25再校 ⇒1/8 OUP 承認取得 ⇒2/10 発刊 ・28-3号 通巻108号（2020年5月発刊予定） 編集会議 11/22 4報採択 ⇒4報とも翻訳者確定（翻訳締切=1/31、監修締切=2/28） ⇒OUP 承認済み ⇒4報とも監修原稿受領⇒3/24再校予定 ・28-4号 通巻109号（2020年8月発刊予定） 編集会議 2/17 4報採択 ⇒4報とも翻訳者確定（翻訳締切=4月末、監修締切=5月末） ・次回編集会議 5/11（月）16時～ <29-1号 通巻110号掲載論文選定 対象誌は NR78(2)-78(4)で、全て公開済み 78(3)まで抄録翻訳済み>
編集部会	<ul style="list-style-type: none"> ・「イルシー」141号 発行 ・「イルシー」142号 編集 ・「イルシー」143～144号 原稿依頼検討

講演会名	案内	担当研究部会

【事務局からのお知らせ】

理事会	<p>第1回理事会が令和2年2月4日（火）に開催された。</p> <p>決議事項（令和2年通常総会決議事項）</p> <ol style="list-style-type: none"> 2019年事業活動報告及び決算報告書案承認の件 事務局が各研究会、研究部会ごとに事業活動の報告をし、決算の概要を資料に基づき説明した。 2020年事業活動報告及び収支予算書案承認の件 事務局が各研究会、研究部会ごとに事業活動の計画及び収支予算の概要を資料に基づき説明した。 1、2双方とも異議なく承認された。 改選及び新任理事の承認 事務局長より次期役員候補として12名の重任理事、2名の重任監事、1名の新任理事、2名の退任理事の説明があり、異議なく選任された。 寄付講座の公表 事務局長より、新寄付講座のテーマとして「国立健康・栄養研究所によるAI栄養学」、「東北大学 未来科学技術共同センター（NICHe）によるAIディアτροφイ」の2題を総会にて公開することを採決した。特に異議なく承認された。併せて、総会の午後に、これらの内容紹介をするための「先端技術シンポジウム」を開催する旨を報告した。 <p>承認事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 理事会での事前審議、承認プロセスについて 事務局長から理事長承認事項案と理事会承認事項案を提案し承認された。 通常総会時シンポジウム案 事務局長から総会開催日の午後に「先端技術シンポジウム」と題して開催する内容を説明。特に異議なく承認された。 星薬科大学「次世代高付加価値食品開発プラットフォーム」 事務局長、理事長から配付資料に基づき説明しILSI Japanとして参画することが承認された。 <p>報告、討議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 2020年本部総会報告 事務局長から本年1月17日から21日までコスタリカで開催された本部総会、サイエンスシンポジウムの概要を配付資料に基づき報告した。 2020年ILSI Japan スケジュール 事務局長より、本年の総会、理事会、シンポジウムの日程について報告した。
総会	<p>令和2年通常総会が2月21日（金）午前10時より日本橋公会堂にて開催された。</p> <p>決議事項</p> <p>第1号議案 2019年度事業活動報告及び決算報告案</p>

	<p>第2号議案 2020年度事業活動計画及び収支予算案 が事務局より説明され2つの議案共に質問はなく、承認された。</p> <p>報告事項</p> <p>次期選任理事の紹介 本部総会報告 2月4日の第1回理事会での報告と同様</p>
事務局	事務局次長 横向慶子氏が1月末で退職。